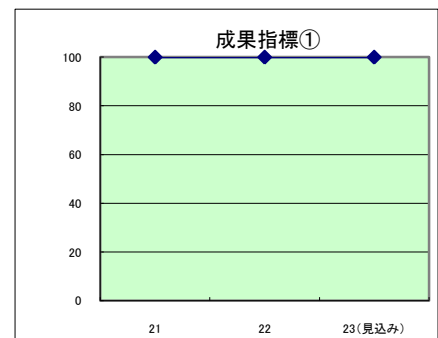
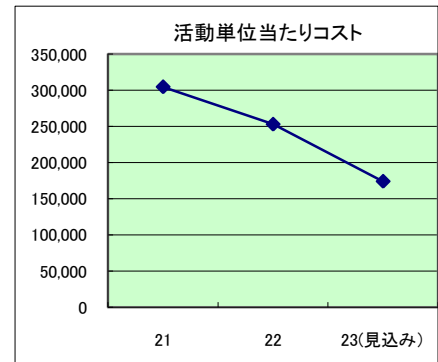


事務事業名	中学校全国大会・近畿大会出場助成事業		会計	1	一般会計
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	3 次代を担う子どもを育むまち	予算科目	10	教育費
	施策(節)	2 学校教育	項目	3	中学校費
	施策の方向	(1) 義務教育の充実	事業	2	教育振興費
				2	中学校教育助成 [教育総務課]
関連する計画等			作成部署	教育委員会事務局学校教育室教育総務課	
事業の目的	対象(誰を・何を)		連絡先	072 - 958 - 1111 内線 4111	
	生徒及び引率教職員				
	意図(どういう状態にしたいのか)				
事業の内容	クラブ活動経費の一部を助成することにより、生徒の健全な心身を育み、部活動を奨励する。				
	中学生がクラブ活動で、日本中学校体育連盟が主催する全国中学校総合体育大会及び近畿中学校体育連盟が主催する近畿中学校総合体育大会に出場したとき、旅費及び宿泊費を助成する。 (平成22年度実績) 菅田中学校水泳部・陸上部 高鷲南中学校陸上部				
根拠法令等	羽曳野市全国大会等出場助成金交付要綱				
事業開始時期	☐ 昭和 16 年開始 ☐ 明確にはわからない ☒ 平成		終了年度	平成 年度	
事業開始時からの状況変化					
市民や議会の要望					
実施手法	☐ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☒ 補助金・助成金 ☐ その他()				
委託先	☐ 市外郭団体委託 名称()		委託内容		
	☐ 民間委託 ☐ その他				

区 分		21年度	22年度	23年度	
		(実績)	(実績)	(見込み)	
事業費【1】 (千円)		469	292	150	
人件費【2】 (千円)		750	720	720	
職員数	正規職員	0.10 人	0.10 人	0.10 人	
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
	超過勤務(参考) (時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間	
総事業費 (【1】 + 【2】) 【A】 (千円)		1,219	1,012	870	
財源内訳	国費 (千円)				
	府費 (千円)				
	市債 (千円)				
	その他 (手数料・使用料等) (千円)				
	一般財源 (千円)	1,219	1,012	870	
活動指標(事業の活動実績)【B】		単位	21年度	22年度	23年度(見込み)
① 助成件数		件	4	4	5
②					
③					
活動単位当たりコスト(【A】／【B】①)			304,750 円	253,000 円	174,000 円
市民1人当たりコスト(【A】／人口)			10 円	9 円	7 円



成果指標 (事業目的の達成度を測る指標)	指標名		単位	指標設定の考え方	平成21年度		平成22年度		平成23年度
	①	適正助成率	%	申請から実績報告までの適正な処理度合	目標	100	100	達成率(%)	100
		(式) 適正処理件数÷申請件数×100			実績	100	100	100.0%	
	②	(式)			目標			達成率(%)	
					実績				

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有	クラブ活動で優秀な成績を収めた生徒及び引率の教職員等の経済的負担を軽減し、クラブ活動の活性化を図るには市の関与が必要である。

分析・評価	視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
	妥当性	市民ニーズが高い	☒	☐	☐	クラブ活動で優秀な成績を収めた生徒及び引率の教職員等の経済的負担を軽減し、クラブ活動の活性化を図ることは妥当である。
		市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない	☒	☐	☐	
		社会情勢の変化に対応している	☒	☐	☐	
		他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	☒	☐	☐	
		国・府の事業と重複していない	☒	☐	☐	
		事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい	☒	☐	☐	
		緊急性が認められる	☐	☐	☒	
	効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など)	☒	☐	☐	必要最小限の助成で、効率的に事業が実施されている。
		受益者負担の割合は適当である	☐	☐	☒	
		人員を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		事業費を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		簡略化できる方法や手段がない	☒	☐	☐	
		市の他事業と重複していない	☒	☐	☐	
		民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない	☒	☐	☐	
	有効性	上位の施策(目的)が明確である	☒	☐	☐	該当する生徒のみならず、学校・生徒全体のクラブ活動に対する士気や関心を高める効果がある。
		上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である	☒	☐	☐	
		成果を向上させる余地がない	☒	☐	☐	
		市民の視点にたってサービスが提供されている	☒	☐	☐	
	協働性	事業の企画、立案に市民が参加している	☐	☐	☒	助成事業であり、市民の参画は該当しない。
		事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている	☒	☐	☐	
		事業の実施について積極的に市民の意見を反映している	☐	☐	☒	
		事業の実施に市民の参加、協力が得られている	☐	☐	☒	
	達成度	成果指標の目標値は適正である	☒	☐	☐	一連の助成は適正に行われている。
		成果指標の実績値は目標値以上である	☒	☐	☐	
		成果指標は前年度より向上している	☒	☐	☐	

担当部局評価	総合評価	
	☐ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了	
	評価の理由	
	全国大会・近畿大会への参加はクラブ活動の活性化や生徒の健全育成に寄与する。 今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など) クラブ活動の活性化や生徒の健全育成に貢献しており、引き続き継続を助成する。	
	総合評価	評価理由・意見

☒ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☒ 方法改善
☒ 民営化・民間委託 ☒ 縮小 ☒ 廃止・休止 ☒ 完了